

世田谷村日記

石山修武

二月八日 日曜日

十一時過研究室。昨日の土浦、桑原弘明氏の取材でMemoの連載は修了となった。本にするスタイルを考えなくては。研究室にはデービッド、渡辺が出ていた。陽だまりの中でくつろぐ。十三時前約束の時間よりもだいぶ早く千葉の高橋さん夫妻来室。私も多分早く来るだろうと思っていたので、良かった。奥さんは相変わらず元気一杯で、思う存分エネルギーだ。安藤が用意した模型、絵、図面で第一回のプレゼンテーション。不難な三角形平面のモノと、思い切り大胆な案との二案。大胆な案はここ二〇年位温め続けているアイデアで、チャンスが無くて実現されていないモノ。コルゲート・シートで人工の丘を作り、その内・外に家を作り込むというモノ。驚いた事に高橋さんはコレで良いという。私に任せて、これでやってみようと言う。いいんですか、と何度も念を入れて尋ねたが、一向に動じず、こっちの案の方が石山も一生懸命になりそうだから、そっちの方が良いと言って下さる。私も思わず笑い出してしまい、じゃあ全力挙げてやってみましようという事になった。出来たら、これは世界に二つとないモノになるぞ。新型の建築を呈示できそうだ。十五時半世田谷村に戻る。少しばかり眠る。夕方、ソバを喰べて、栄久庵憲司論書く。仲々うまく書けずに四苦八苦する。

二月九日

十時修士論文審査発表会。十九時半、ピースウィンド、三好シユタークひろしまハウス打ち合わせ。

二月十日

十時修士論文審査発表会。十八時計画系四研究室発表全て修了。今年の修士設計は格段に低調。論文も一人に不合格を採点することになる。石山研榎谷の論文「商品化住宅広告史」早苗賞受賞。十九時突然千代田さん来室。十九時過ぎ上海の登先生来室。同三〇分 社長若松氏来室。二人を引き合わせる。高田馬場文隆にて会食。二十二時三〇分世田谷村へ。